

英語科学習指導案

日時 令和3年6月3日(木) 第4時限

学級 第1学年6組

(男子19名 女子15名)

場所 1年6組教室

授業者

印

指導教諭

印

1. 単元名

教科書 New Horizon English Course 1 (東京書籍)

Unit3 Club Activities

2. 単元目標

- ・ Where, When を用いて、いつ・どこなのかを尋ねることができる。
- ・ want to を用いて自身のしたいことや夢を伝えることができる。
- ・ How many を用いて数を尋ねることができる。

3. 単元について

(1) 生徒観

Unit2 までで、What, Who, How といった疑問詞を既に学んでいるが、中には疑問詞の文の語順や、それぞれの意味を覚えられていない生徒もいると考えられる。したがって、疑問詞の語順と、それぞれの意味を繰り返し確認していきたい。また、動詞と名詞を混同している生徒もいるため、特に Part2 を扱う際には want to の後ろには動詞が来ることを意識させたい。

(2) 教材観

本単元では、メグがシドニーの友人に見せるために、放課後に部活動を行っている友人と対話しながら、ビデオを撮影している様子が描かれている。メグと友人の会話では、疑問詞を用いて部活の練習場所や時間、道具の個数を尋ねる場面や、目標や夢を want to を用いて説明する場面がある。本文や互いの身の回りのことについて尋ね合う活動を通して、疑問詞や want to の用法の定着を図るとともに、質問を用いて会話を広げる力を養いたい。

(3) 指導観

コミュニケーションを通じて小学校で学んだ基礎的な表現や、前回までの授業で学習した疑問詞の復習から行い、新しい内容にスムーズに入れるようにする。また、本文の音読に加えて、自分の身の回りのことに置き換えて会話をすることで、知識の定着を図る。音読や会話の中では、相槌や質問をはさむ方法も身につけられるように指導したい。

4. 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]疑問詞 Where や When、want to、How many~?を用いた文の形と意味、用法を理解している。</p> <p>[技能]疑問詞 Where や When、want to、How many~?を用いて、場所や日時、持ち物、夢などについて伝え合うことができる。</p>	<p>お互いについて知るために、場所や日時、持ち物、夢などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。</p>	<p>お互いについて知るために、場所や日時、持ち物、夢などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。</p>

5. 単元の指導と評価の計画（全6時間）

時間	学習内容	指導のポイント	主な評価規準
<p>第1時 (本時)</p>	<p>Part2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enjoy Communication に取り組む。 ・ want to を用いて、したいことや将来の夢を説明する方法を学ぶ。 ・ 本文の内容を理解する。 ・ Your Turn に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Enjoy Communication で、小学校で学んだ表現を確認する。 ・ デジタルブックの文法 Movie を見せ、want to の意味や用法について確認する。 ・ PC で p.32 のイラストを見せながら音声を流し、発問をしながら内容を確認する。また、音声を流す前にはどこを注意して聞き取る場所を示しておく。 ・ Your Turn②を用いて、会話を行う。 	<p>want to を用いた文の形と意味、用法を理解している。また、want to を用いて、したいことについて伝え合うことができる。【A 知識・技能】</p> <p>お互いについて知るために、したいことについて、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。【B 思考・判断・表現】</p> <p>お互いについて知るために、将来の夢やしたいことなどについて、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】</p>
<p>第2時</p>	<p>Part2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Beat by Beat! に取り組む。 ・ 音読活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の内容を確認してから、Beat by Beat! でイントネーションについて確認する。 ・ 音読活動の前には、発音の注意点を 	<p>want to を用いて、したいことについて伝え合うことができる。【A 技能】</p> <p>お互いについて知るため</p>

	<p>・ワークシートに取り組む。</p>	<p>伝え、手本を見せる。また、②と③の間でペアを変える。</p> <p>①Buzz Reading (5分間)</p> <p>②Parallel Reading (ペアの一人が本文を見ながら読み、もう一人がそれを復唱する)</p> <p>③Response Reading (メグ役はカイト役の話に相槌をはさむ。相槌の具体例はプリントに示しておく。)</p> <p>・ワークシートでは、相手の誕生日と食べたいものについて尋ね合う。</p>	<p>に、したいことについて、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。【B 思考・判断・表現】</p> <p>お互いについて知るために、したいことについて、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】</p>
第3時	<p>Part1</p> <p>・Enjoy</p> <p>Communication に取り組む。</p> <p>・Where と When を用いて場所や時間についての尋ね方や答え方を学ぶ。</p> <p>・本文の内容を理解する。</p> <p>・音読を行う。</p>	<p>・Enjoy Communication で、小学校で学んだ表現を確認する。</p> <p>・デジタルブックの文法 Movie を見せ、Where と When の意味や用法について確認する。</p> <p>・手本を見せながら、肯定文の中で場所や時間を表す部分に線を引き、When や Where を用いた疑問文を作る。</p> <p>・PC で p.30 のイラストを見せながら音声を流し、発問をしながら内容を確認する。また、音声を流す前には注意して聞き取る場所を示しておく。</p> <p>・発音の注意点を示してから、音読を行う (Chorus Reading)</p>	<p>疑問詞 Where や When、を用いた文の形と意味、用法を理解している。【A 知識】</p> <p>お互いについて知るために、場所や日時について、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】</p>
第4時	<p>Part1</p> <p>・Beat by Beat! に取り組む。</p> <p>・音読活動を行う。</p> <p>・When と Where を用いて会話を行う。</p> <p>・Your Turn に取り組む。</p>	<p>・前時の内容を確認してから、Beat by Beat! でイントネーションについて確認する。</p> <p>・音読活動の前には、発音の注意点を伝え、手本を見せる。また、②と③の間でペアを変える。</p> <p>①Buzz Reading (5分間)</p> <p>②Read and Look-up (「本文を見ながら読む→顔を上げて読む」を一文ずつ</p>	<p>疑問詞 Where と When を用いて、場所や日時について伝え合うことができる。【A 技能】</p> <p>お互いについて知るために、場所や日時について、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に</p>

		行う) ③Interpreter Reading (「ペアの一人が日本語を読む→もう一人が英語を読む」を一文ずつ行う) ・会話では、相手の部活動の活動場所・時間について尋ね合う。	相槌などを挟むことができる。【B 思考・判断・表現】 お互いについて知るために、場所や日時について、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】
第5時	Part3 ・Enjoy Communication に取り組む。 ・How many~?を用いて、持ち物の数を聞く方法を学ぶ。 ・本文の内容を理解する。 ・音読を行う ・Your Turn に取り組む。	・Enjoy Communication で、小学校で学んだ表現を確認する。 ・デジタルブックの文法 Movie を見せ、How many~?の意味や用法について確認する。 ・PC で p.34 のイラストを見せながら音声を数回流し、発問をしながら内容を確認する。また、音声を流す前には注意して聞き取る場所を示しておく。 ・発音の注意点を示してから、音読を行う (Chorus Reading)	How many~?を用いた文の形と意味、用法を理解している。【A 知識】 お互いについて知るために、持ち物について、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】
第6時	Part3 ・Beat by Beat! に取り組む。 ・音読活動を行う。 ・Unit3 のワークシート②に取り組む。 ・Your Turn に取り組む。	・前時の内容を確認してから、Beat by Beat! でイントネーションについて確認する。 ・音読活動の前には、発音の注意点を伝え、手本を見せる。 ①Buzz Reading (5分間) ②Parallel Reading (ペアの一人が本文を見ながら読み、もう一人がそれを復唱する) ③Response Reading (メグ役はアサミ役の話に相槌をはさむ)	How many~?を用いて、持ち物について伝え合うことができる。【A 技能】 お互いについて知るために、持ち物について、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。【B 思考・判断・表現】 お互いについて知るために、持ち物について、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】

6. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ want to の用法を理解し、自身のしたいことや将来の夢を伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・ want to を用いた文の形と意味、用法を理解している。また、want to を用いて、したいことについて伝え合うことができる。【A 知識・技能】
- ・ お互いについて知るために、したいことについて、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。【B 思考・判断・表現】
- ・ お互いについて知るために、将来の夢やしたいことなどについて、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】

7. 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準	
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶。 ・出欠確認、月・曜日・天気確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“Good morning, everyone.” “How are you?” ・“What date is it today?” “What’s the date today?” “How’s the weather?” 		
展開	15分	want to の使い方を学び、したいことや将来の夢を伝えよう。			
		<ul style="list-style-type: none"> ・単語の確認 ・ want to の意味・用法の確認 ・ Enjoy Communication (p.32) に取り組む。小学校で学習した表現を用いて、3分間で何人のクラスメートと話せるか挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の単語・新出単語をデジタルの教科書を用いながら音読する。 ・ r の発音などの注意点を伝える。 ・デジタル教科書の文法 Movie を用いる。 ・プリントを配り、重要な部分を再確認する。 ・活動の前に例文の発音と p.165 の職業の発音を確認する。 ・ p.165 の発音を確認する際には、a, an のルールを再確認する。 ・例文の発音を全員で読んで確認する。また、例文の説明をする際には、ボランティアを募って実際に会話を 	<p>want to を用いた文の形と意味、用法を理解している。【A 知識】</p> <p>want to を用いて、したいことについて伝え合うことができる。【A 技能】</p> <p>お互いについて知るために、したいことについて、簡単な</p>	

		<p>してみせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.165の発音練習は、机間巡視と並行して行う。 ・活動が終わったら何人と話すことができたか挙手で確認する。 	<p>語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。【B 思考・判断・表現】</p> <p>お互いについて知るために、将来の夢について、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C 主体的に学習に取り組む態度】</p>
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な表現や難しいと考えられる表現について説明を行う。 ・発音の確認をしてから、教科書の音読（Chorus Reading）を行う。 ・本文の内容確認では、want to の後ろに注意して聞くように説明してから音声を3回流す。 ・毎回流す前に何回目の want to に着目すればいいのかを示す。 ・それぞれどのような内容が聞こえたか3分間ペアで話し合わせ、発問を行いながら内容の理解を確認する。 ・“1回目の want to では何をしたいと言っていましたか？” “2回目では何と言っていましたか？” “3回目はどうですか？” 	<p>want to を用いた文の形と意味、用法を理解している。【A 知識】</p>
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・Your Turn (p.33) ・Your Turn②を用いた活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に2分間自分で考えた後、3分間隣近所で教え合う。 ・自分で考える際には、プリントのポイントを見ながら書いても良いことを伝える。 	<p>want to を用いた文の形と意味、用法を理解している。また、want to を用いて、したいことにつ</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・参考になる動詞 (work, live など) を紹介する。 ・②の内容をペアで伝え合う。(1人2分ずつ) ・例文の発音を全員で読んで確認する。また、例文の説明をする際には、ボランティアを募って実際に会話をしてみせる。 ・聞く側は必ず質問を返さなければならぬことを伝える。 ・メモには want to 以下の内容をメモするように指示する。 ・机間巡視を行いながら、余裕のあるペアには教員からも質問を投げかける。また、質問の方法などで困っているペアには、適宜ヒントを出す。 ・時間があれば数人指名して、発表させる。 	<p>いて伝え合うことができる。【A知識・技能】</p> <p>お互いについて知るために、したいことについて、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。また、相手に合わせて適切に相槌などを挟むことができる。【B思考・判断・表現】</p> <p>お互いについて知るために、将来の夢について、簡単な語句や文を用いて伝え合い、主体的に英語を話そうとしている。【C主体的に学習に取り組む態度】</p>
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返り ・次回の連絡・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・ "That's all for today. Goodbye, everyone." 	

Unit3 Part2 「したいことや夢を伝えよう」①

1年__組__番 氏名: _____

● Enjoy Communication (教科書 p.32)

将来の夢の職業について、3分間でなるべく多くのクラスメートとたずね合い、表にメモしましょう。

【例】 A: I want to be a singer. How about you?

B: I want to be a soccer player.

A: Great! [Nice dream!]

他にも Cool!, Wonderful,
Sounds Great! など

自分	
相手 ()	
相手 ()	
相手 ()	
相手 ()	
相手 ()	
相手 ()	

● “want to”の意味と使い方

《ポイント1》

want to +動詞 ⇒ 「_____」

【例】 I want to play soccer. 「私はサッカーがしたいです。」

Do you want to eat sushi? 「あなたはお寿司が食べたいですか？」

《ポイント2》

want to be ~ ⇒ 「_____」

【例】 I want to be an English teacher. 「私は英語の先生になりたいです。」

Do you want to be a pilot? 「あなたはパイロットになりたいですか？」

● 本文の内容を確認しよう (教科書 p.32-33)

今から教科書本文の音声を 3 回流します。

want to が 3 回登場するので、それぞれ何をしたいと言っているのか考えましよう。

● Your Turn (教科書 p.33)

②で書いたことをお互いに説明し合い、相手が言ったことを () にメモしましょう。

(注) 聞く側は必ず 1 回は質問をしましょう。

(例 1) A: I want to go to Australia. 「私はオーストラリアに行きたいです」

B: Oh, why? 「へえ、どうしてですか?」

A: Because I want to see koalas. 「コアラに会いたいからです。」

(例 2) A: I want to buy a car someday. 「私はいつか車を買いたいです。」

B: Really? Do you like cars? 「そうなんですか? 車が好きなんですか?」

A: Yes, I do. 「はい。」

相手 ()	I want to ()
--------	---------------

● 振り返り

今日の授業を振り返って、できるようになったこと・わからなかったこと・次回から気を付けたいことなどを考えましよう。